

株主の皆様へ

第55期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社 **オービック**

証券コード:4684

OBIC7クラウドでDXを推進 お客様とともに新たな成長へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社の第55期中間期(2021年4月1日～9月30日)の事業概要および実績をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

今期は新型コロナウイルスによる感染症が拡大する一方、産業界ではデジタルトランスフォーメーション(DX)投資が一段と広がりました。当社は社員一同、お客様企業のDX推進を全力で支援する課題と目標を掲げ、経営効果を最大限引き出す取り組みを推進した結果、売上高・営業利益・経常利益いずれも過去最高を記録し、特に営業利益は21期連続で増益を達成できました。

当社は創業以来、一貫して掲げる「お客様第一主義」のもと、お客様のニーズにきめ細かく対応し、最新かつ安心安全で経営効果に直結するソリューションを提供してまいりました。主力のOBIC7クラウドは会計や人事給与、販売管理を中心にした経営基幹情報システムとして幅広い業種業界のお客様から支持をいただき、今期はクラウドサービスの利用料収入が2ケタ増の伸びを達成できました。

技術力に優れた自社社員で運用するクラウドセンターを東西に配置し、世界で通用する高いセキュリティ基準を達成した安全性の高いネットワーク環境を通じて早期に導入、かつ運用コストを抑えることで、事業拡大や新規事業、事業継続対策にも貢献するシステムとして高い評価をいただいております。

当社は社員全員にテレワーク用の端末を配備し、OBIC7クラウドを駆使して、社員がお客様の新システム導入の企画、開発、運用、保守に対応させていただく体制を構築しました。今期は新規の9割以上のお客様にクラウドを選んでいただき、2025年には100%クラウドに全面移行する目標を掲げております。

先日、来年の市場再編に向けて、東京証券取引所に「プライム市場」への選択申請をいたしました。どうか今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橘 昇一

中間決算ハイライト(連結)

おかげさまで当中間期も、 過去最高の業績を更新いたしました

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革(DX)への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

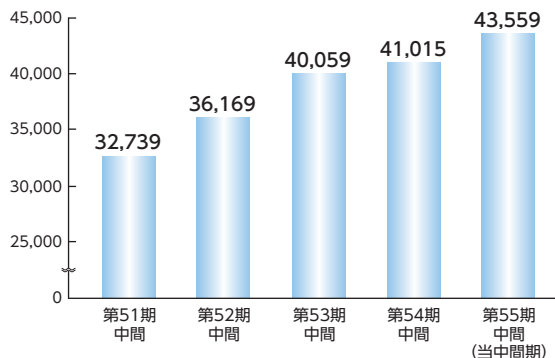
当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高435億59百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益263億71百万円(同10.4%増)、経常利益は289億35百万円(同10.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は212億77百万円(同11.4%増)となりました。(第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用)

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

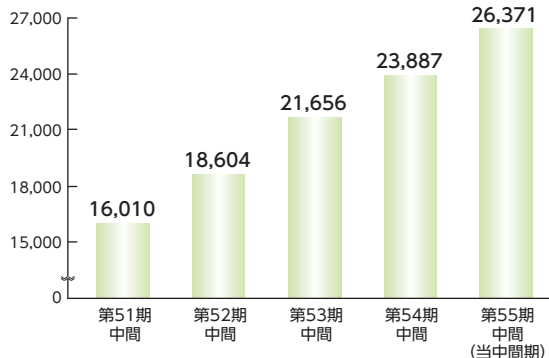
売上高

(単位:百万円)



営業利益

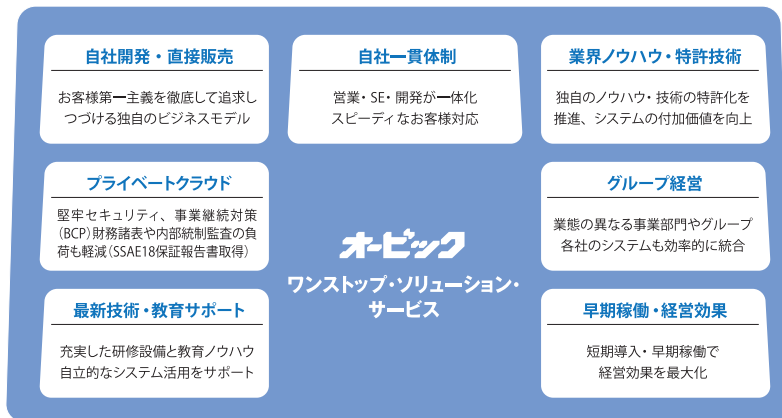
(単位:百万円)



事業概況／ワンストップ・ソリューション・サービス

1社ですべて解決 経営効果の最大化を全力支援

オービック独自のビジネスモデル「ワンストップ・ソリューション・サービス」はシステム導入のコンサルティングから企画・設計、構築、運用・保守まで、他社を一切介さず、すべて自社開発・直接販売・自社サポートで一貫して提供します。直接販売で得た様々な業界業務の知識とノウハウを蓄積し、システム企画・構築に反映。お客様サポートにも役立てております。業界最高水準のセキュリティ基準を確保したクラウド環境は、新システムの早期・安定稼働を実現します。



当中間期もクラウド利用好調 全クラウド化、2025年タッチダウン

2021年4～9月期の連結営業利益は前年同期比1割増の263億71百万円になり、4～9月期としては21期連続で最高益を更新いたしました。クラウドの利用料収入が顧客数の増加に伴って2ケタ増だったことが業績に大きく貢献しております。

当社は2025年に「OBIC7」のクラウド全面移行を目指しており、2021年4～9月期は契約金額ベースで新規顧客の9割以上がクラウドを選択いたしました。本クラウドサービスは、高いセキュリティ水準を実現しており、内部統制強化やリモートワークへの対応など、お客様のビジネス環境の急速な変化にもスピーディーに対応しております。

今後も継続してクラウドサービスの拡充に努めてまいります。

主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

選ばれて、国内ERP累計導入社数19年連続No.1※ 主力製品の「OBIC7シリーズ」が販売実績を伸ばしました

1 ワンストップ・ソリューション・サービス

自社開発・直接販売・自社一貫サポート。オービックが築き上げた真の「ワンストップ・ソリューション・サービス」が、大きな安心と満足をお約束します。

2 高い経営効果

会計情報を軸に経営効果の最大化に貢献。お客様の企業利益を徹底追求します。

3 スピード稼働

短期間に「OBIC7シリーズ」を導入可能。事業拡張にも柔軟かつ迅速に対応できます。

4 お客様専用で安心

お客様専用のプライベートクラウドを採用。個々のお客様のご要望に柔軟にお応えできるとともに、セキュリティ面でも安心です。

5 万全のBCP対策

データセンターを並存させる複数リージョンでの堅牢なデータ保全。設備・機器の多重化等により、常に安定したシステム稼働をサポートします。

(※2002年～2020年主要ベンダー（ライセンス売上高シェアトップ10）における累計導入社数（株）矢野経済研究所「ERP市場の実態と展望2021」2021年8月現在
本調査結果は定性的な調査・分析手法による推計



当中間期の取り組み

● 社員の働き方に関する取り組みを推進 「健康経営優良法人2021」、「くるみん」の認定を取得

お客様の持続的な成長をご支援するためには、社員が健康で活き活きと働き、成長できる環境づくりや、ワークライフバランスの推進が大切だと考えております。働く環境を意識した取り組みを進める中で、「健康経営優良法人2021」、「くるみん」の認定を受けました。

今後も全社員が成長しながら長く働ける環境づくりに継続して取り組んでまいります。



● オービッククラウドアカデミーを名古屋に開設 お客様のシステム導入を全国でサポート

今年6月、名古屋支店をNHK名古屋放送センタービル（名古屋市東区）からJR名古屋駅前のオフィスビルに移転し、フロア面積を倍増させたことに伴い、「オービッククラウドアカデミー」を名古屋に開設いたしました。首都圏・関西に続く国内3カ所目の拠点であり、中部地区のお客様のシステム導入を支援するサービスの一環として、既に多数のお客様にご活用いただいております。

クラウドサービスでお客様の専用環境をご用意して、全社的な操作習得の場としてご活用いただくなど、全国展開されている企業様の構築ニーズにもしっかりと応えております。

今後もお客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進のために、様々な活用を企画・検討してまいります。



営業の概況

当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社2社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト(PKG)事業については、関連会社で行っているため、事業のセグメントには含まれておりません。

◎ システムインテグレーション(SI)事業

売上高

199億37百万円

前年同期比 3.3% ↑

営業利益

112億89百万円

前年同期比 4.7% ↑

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、様々な業界・業種の企業に求められました。サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が減少したものの、付加価値の高いシステム構築の売上については、堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、199億37百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は112億89百万円(同4.7%増)となりました。



◎ システムサポート(SS)事業

売上高

203億57百万円

前年同期比 15.3% ↑

営業利益

143億18百万円

前年同期比 14.7% ↑

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェアおよびハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、203億57百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は143億18百万円(同14.7%増)となりました。



クラウドセンター

◎ オフィスオートメーション(OA)事業

売上高

32億64百万円

前年同期比 7.1% ↑

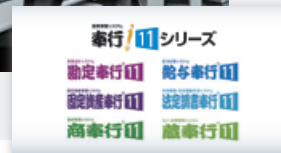
営業利益

7億63百万円

前年同期比 21.9% ↑

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少したものの、主力の業務用パッケージソフトの販売については堅調に推移しました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、32億64百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は7億63百万円(同21.9%増)となりました。〔「収益認識に関する会計基準」を適用〕



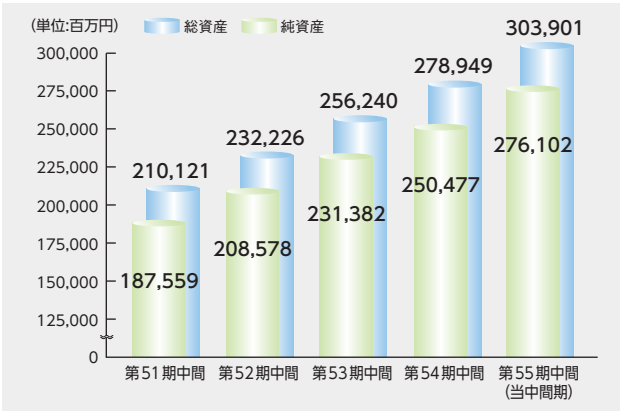
連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (2021年3月31日現在)	当中間期 (2021年9月30日現在)
資 産 の 部			
流動資産		163,046	163,855
現金及び預金		150,745	150,621
受取手形及び売掛金		11,035	—
受取手形、売掛金及び契約資産		—	11,816
その他		1,265	1,417
固定資産		135,211	140,046
有形固定資産		56,265	56,354
建物及び構築物		26,485	26,160
土地		27,636	27,636
その他		2,143	2,556
無形固定資産		133	129
投資その他の資産		78,811	83,561
投資有価証券		74,816	80,030
その他		3,995	3,531
資産合計		298,257	303,901

総資産／純資産



(単位:百万円)

科目	期別	前期 (2021年3月31日現在)	当中間期 (2021年9月30日現在)
負 債 の 部			
流動負債		23,931	19,562
固定負債		8,300	8,237
負債合計		32,231	27,799
純 資 産 の 部			
株主資本		256,596	263,112
資本金		19,178	19,178
資本剰余金		19,530	19,530
利益剰余金		240,028	251,966
自己株式		△ 22,140	△ 27,562
その他の包括利益累計額		9,428	12,990
その他有価証券評価差額金		10,162	13,490
土地再評価差額金		△ 694	△ 481
退職給付に係る調整累計額		△ 39	△ 19
純資産合計		266,025	276,102
負債・純資産合計		298,257	303,901

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	当中間期 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		19,532	16,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		207	△ 1,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 8,005	△ 14,762
現金及び現金同等物の増減額		11,734	△ 124
現金及び現金同等物の期首残高		129,612	150,745
現金及び現金同等物の四半期末残高		141,346	150,621

● 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

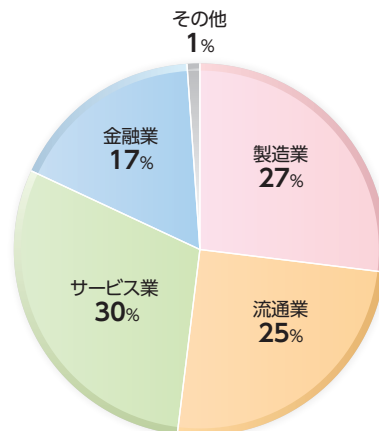
科目	期別	前中間期 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	当中間期 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
売上高		41,015	43,559
売上原価		10,860	10,251
売上総利益		30,154	33,308
販売費及び一般管理費		6,266	6,937
営業利益		23,887	26,371
営業外収益		2,906	3,332
営業外費用		649	768
経常利益		26,144	28,935
特別利益		288	2
特別損失		1	0
税金等調整前四半期純利益		26,431	28,937
法人税等		7,324	7,659
四半期純利益		19,107	21,277
親会社株主に帰属する四半期純利益		19,107	21,277

● 中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

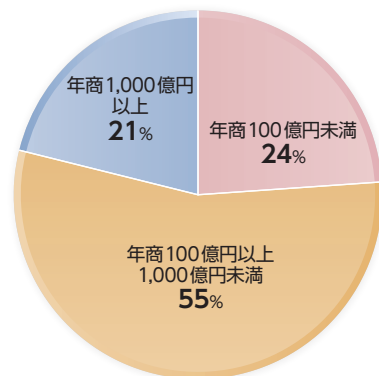
当中間連結会計期間(2021年4月1日～2021年9月30日) (単位:百万円)

	純資産合計
2021年4月1日残高	266,025
中間連結会計期間中の変動額	
剰余金の配当	△ 9,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,277
自己株式の取得	△ 5,422
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	3,561
中間連結会計期間中の変動額合計	10,076
2021年9月30日残高	276,102

● 販売先情報(業種別)



● 販売先情報(規模別)



会社概況 (2021年9月30日現在)

社 名	株式会社オービック
設 立	1968年4月8日
資 本 金	191億7,880万円
社 員 数	2,122名(連結)
主要事業	システムインテグレーション事業 システムサポート事業 オフィスオートメーション事業
事 業 所	東京本社 大阪本社 横浜支店 名古屋支店 京都支店 福岡支店 北関東支店 松本営業所 静岡営業所 広島営業所
グループ会社	株式会社オービックオフィスオートメーション 株式会社オービックビジネスコンサルタント 他1社

役 員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	野 田 順 弘
代表取締役社長	橘 昇 一
常務取締役	川 西 篤
取締役	藤 本 隆 夫
社外取締役	五 味 康 昌
社外取締役	江 尻 隆
常勤監査役	小 屋 町 朗
社外監査役	田 中 健 夫
社外監査役	山 田 重 嗣

株式の状況 (2021年9月30日現在)

●発行可能株式総数	398,400,000株
●発行済株式の総数	99,600,000株
●株主数	5,833名
●外国人持株数	33,587,312株
●少数特定者持株数	59,873,513株
●浮動株数 (1単元以上50単元未満の合計)	1,726,906株
●投資信託株数	7,042,000株
●年金信託株数	1,178,700株
●大株主	

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	12,227	13.78
株式会社日本カストディ銀行	7,878	8.88
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	3,589	4.04
野田 順弘	2,881	3.24
野田 みづき	2,781	3.13
エスエスピーティーシー クライア ント オムニバス アカウント	2,247	2.53
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,773	2.00
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティ 505234	1,373	1.54
株式会社ダノックス	1,050	1.18

(注) 1.当社の所有する自己株式10,922千株は、上記の表には含めておりません。
2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL www.obic.co.jp



統合業務ソフトウェア
オービックセブン

OBIC7

photo by ©MIPLANNING

株式会社 **オービック**

Web サイト **www.obic.co.jp**

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15 (オービックビル)

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0046 大阪市中央区平野町 4-2-3 (オービック御堂筋ビル) TEL 06-6201-3231